

《評価指標データ》

- 博士研究員（PD）の受入状況
- 日本学術振興会特別研究員（DC、PD）の受入人数
- 研究誌発行状況
- 提携大学との研究誌等の交流状況（送付・受入）
- 専任教員の発表論文数【基本的な指標データ】
- 学術賞の受賞状況【大学基礎データ】
- 学会誌・国際学会議事録等に掲載された学術研究論文数
- 21世紀COEプログラムの採択状況
- 文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業の採択状況
- 文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業採択状況【基本的な基礎データ】
- 特定プロジェクト研究センター制度の活用状況
- 国際学会でのゲストスピーカーの延べ回数

☆ 追加データがあれば追加してください。

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(1)》効果が上がっている事項 注) 出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目4.0.1	社会起業に関する若干の新設科目の設置を決定し、非常勤講師を増員したなど、理念と目的に照らして充実する取り組みがなされた。さらに2011年度にむけて研究科担当教員を数名増員した。
☆ 小項目4.0.2	
その他	

↓

《次年度に向けた方策(1)》伸長させるための方策 注) 出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目4.0.1	
☆ 小項目4.0.2	大学院諸問題検討委員会においてカリキュラムおよび研究教育組織の点検を行ったが、専攻増設も視野に入れた検討については継続中である。
その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(2)》改善すべき事項 注) 出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目4.0.1	
☆ 小項目4.0.2	
その他	

↓

《次年度に向けた方策(2)》改善方策 注) 出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目4.0.1	
☆ 小項目4.0.2	
その他	

◎自由記述

《点検・評価》&《次年度に向けた方策》

☆ その他 (自由記述)	
-----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

＜評価専門委員会の評価＞

【学外委員】

○教員の充実や学外者の協力者など、必要とされる教育研究組織の充実が図られています。

【学内委員】

○現状の説明小項目4.0.1で、「...充実に取り組んだ。」、しかし基本的に大きな変更はなく、適切だったとの記述は少しわかりにくいと思います。

○目標1で、「学部教員の総数に占める研究科担当教員を増加する。」とし、新設科目の設置に伴う非常勤講師や研究科理念の充実にふさわしい研究科担当教員の増員をした点は評価されます。今後とも、理念はもちろん、学部との関係、入学定員・在籍数、科目・学位等との関係も視野にいれ、研究科担当教員の必要数の継続的な検証が期待されます。

○本項目は、大学（院）の理念・目的に照らして教育研究組織として相応しいか、研究科の理念・目的を実現するために相応しいか、を少し大きな視点で聞いているのだと思います。

【大学基準協会:評価に際し留意すべき事項】

○小項目4.0.1

基盤評価：なし

達成度評価：「教育研究組織が、当該大学、学部・研究科等の理念・目的を実現するためにふさわしいものである」

○小項目4.0.2

基盤評価：なし

達成度評価：「検証を実施する体制を整備し、責任を明確にするなどしたうえで、教育研究組織の適切性について、恒常的かつ適切に検証を行っている。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

○小項目4.0.1（説明）

★ 教育研究組織が理念・目的に照らして適切なものであるかを問う件に関しては担当者を増強するなど充実したとの表記にもみられるように研究科設置の理念・目的を大きく変更することなく充実を図ったものと理解されたい。教育研究組織の基盤整備についても学則および規程により定められており、さらに研究科においては大学院諸問題検討委員会などを設置し継続的・恒常的に理念・目的と教育研究組織との矛盾がないか検討がなされていると認識していただきたい。